

**建交労大阪府本部**  
**機関紙**  
  
 発行元 府本部  
 電話 06-4800-7115

# 4・3大阪トラックパレード開催

夢洲スポーツアイランドで決起集会  
 大阪府本部と大阪トラック部会は4月3日(日)小雨が降る中、全体の参加者70名で舞洲スポーツアイランド陸駐駐車場から、なんば敷津交差点までの間、トラックパレードを行いました。早朝は、舞洲スポーツアイランド陸駐駐車場にトラック29台、宣伝カー3台が結集し、決起集会を開催。物流ウイークリーの取材もありました。大阪トラック部会・芦崎事務局長の司会進行で始まり、冒頭に主催者を代表して大阪府本部・前村執行委員長があ

25 職場で2月9日に提出、月額2万5,000円、4万5,000円の要求で今闘っています。建交労大阪が組織する職場は圧倒的に中小零細企業で、個別の企業単位だけの交渉では、厳しい経営実態があるだけに、賃上げ交渉がなかなか進まない状況にあります。」と

いさつ。「春闘アンケートに基づき、対象職場50中



## 前村執行委員長あいさつ

述べるとともに「コロナ不況に加えて、ロシアへの経済制裁が強められる中で、燃料高騰に拍車がかかり、あらゆる物価が軒並み引き上げられる中で闘われる。私たちの真の敵は、政治家と大企業優遇である。また、労使協調路線をとる連合が低い賃上げ相場を作り大幅賃上げが進まない大きな要因と見える。コロナ不況から経済を活性化させるには大企業の内部留保を労働者に還元し、大幅賃上げを実現しよう!」と呼びかけました。そして、来賓あいさつに駆けつけて頂いた、大阪労連・菅議



## 舞洲スポーツアイランド陸駐駐車場



## なんば高島屋前 野田阪神前・関西支部宣伝行動



長、大阪交運共闘・庭和田事務局長、日本共産党・辰巳孝太郎前参議院議員大阪選挙区予定候補からあられたことを報告。その後、荻田書記長からコースと注意事項の説明。最後に大阪トラック部会・植西部会長の団結がんばろう二

唱で決起集会を締めくくりました。パレードは、舞洲スポーツアイランド陸駐車を発して野田阪神駅前に関西支部10名がトラック運輸2024年問題のビラ配付を行うとともに、「平和を守れ！ロシアのウクライナ侵略に反対！」「コロナ不況から経済を活性化。運輸・建設業の魅力ある職場をめざそう！」と宣伝を行いました。また、なんば高島屋前には大阪合同支部6名、神田支部2名が結集し、同様の宣伝行動を実施し府民にアピールしました。



# 4月9日・10日(土・日)京都府・大正池グリーンパークに於いて

## 大阪府本部主催・学習交流会開催

大阪府本部は、4月9日・10日(土・日)の1泊2日で、大阪府本部全体の組織強化・各支部の交流と府本部役員を次世代へ継承することを目的とした学習交流会を京都府・大正池グリーンパークで行いました。参加者は全体で38名、関西支部12名、大阪合同支部9名、関西合同支部9名、此花支部4名、関西ダンブ支部2名、神田支部2名が参加しました。特徴的だったのは、関西支部参加者の大半が20代・30代の組合員で次世代への継承の準備が進んでいることと、フレッシュ感がありました。

初日の学習会は荻田書記長の司会進行で始まり、第1部学習会は、前村委員



### 前村執行委員長

のエネルギー政策の転換で、炭鉱の縮小・閉山が強行され炭鉱労働者10万人の首切り、三池炭鉱労働者1,278人の指名解雇の押しつけ、61年・62年に炭労と共同闘いを強め「たろう、じろう」(炭労、自労)の闘いの歴史などを説明。1980年には、全日自労、全国建設、建設・資材一般労働組合協議会に加盟する33単産労働組合が「組織統合基本文書」に

基づいて組織統合し全日自労建設一般労働組合(略称・建設一般全日自労)を結成。その時代に、ダンブの労働者性のたかいで労組法上の労働者「ダンブ持ち労働者」を認めさせるたかいをを行い、さらに、1991年8月に農村労連、建設一般全日自労が組織統合し、全日自労建設農林一般労働組合(略称・建設一般)から1999年9月建交労になり、INAXメンテナンスが労働者性を争って最高裁で逆転勝利を勝ち取った歴史を学びました。

### 全日土建から建交労へ変遷の歴史

長が「全日土建から建交労へ変遷の歴史」をテーマに約30分間の講義を行い、全日土建一般労働組合が1947年に結成し、1953年に全日本自由労働組合(略称・全日自労)へ改名したことや、1961

年頃に35万人となった失対労働者のうち、全日自労に23万人が結集し、労働者階級の闘いをはじめ、地域のさまざまな民主運動、平和運動に重要な役割を果たすようになった事。1959年、石炭から石油へ



## 大正池グリーンパーク 4月9日(土)研修室

# 全自運・運輸一般・建交労の歴史

第2部学習会は、鷹巢副委員長が「全自運・運輸一般・建交労の歴史」をテーマに約30分間の講義を行い、1960年に全自運が結成され、結成時の職場が現在も存在し活動を続けていることなど説明。そして、1977年に小樽一般・函館合同労組・静岡中小労連が組織統合し1977年に運輸一般が結成。1983年運輸一般時代に武部が関西地区生コン支部の約半数近い組合員を引き連れ運輸一般から分裂した歴史、建交労になつてからのエアウオーター闘争・西神戸闘争で職場組合員の解雇をわずか1ヶ月程度で撤回させ職場復帰させた闘いなどを説明。



## 鷹巢副委員長

現在の建交労大阪で組織している各支部の現状などを報告しました。そして、生コンについては関西支部・藤川書記長が補足説明しました。

学習会参加の組合員から質問などはありませんでしたが、感想として「歴史を学ぶことも



必要。次の世代の人にも伝えていきたい。」などを語ってくれました。



交流会は、午後3時30分から開始し、大阪合同支部・大西副委員長の手料理で焼き

肉・焼きそば・おでんなどに舌鼓をうちました。交流会の途中に関西支部・高橋副委員長が差し入れを持って参加。また、交流会で様々な職場の問題や悩みなどを打ち明け合い、午後9時頃まで交流しました。参加者からは、「他の支部と交流が出来て、自分の知らないことも聞けて良かった。年に1回は交流会をやってほしい。やっと大阪全体の組織が仲良く交流会が出来るようになって嬉しい。各支部が頑張って大阪府本部を支えていこう。」などの感想を聞き、大阪府本部の団結強化に繋がりました。翌日は、朝食後に写真撮影して解散しました。